

南部創造のまちづくりとは？

京都市の南部地域は桂川、鴨川及び宇治川が合流する豊かな自然環境と特色ある文化や歴史に恵まれた地域であることに加えて、「ものづくり都市・京都」ならではの優れた技術を有する企業が数多く集積しています。

南部地域の潜在力をさらに引き出して京都の発展につなげるために、南部創造のまちづくりを推進しています。

※南部創造のまちづくり対象エリアは、「南区と伏見区（醍醐地域を除く）」です。



南部地域の 特長とは？

特長① 都市

けいはんな学研都市、桂イノベーションパークや京都リサーチパークなどの産学公連携拠点を近接しています。

特長② 交通

関西国際空港や名古屋への高速道路のアクセスの良さなど、広域交通の利便性において市中心部とは異なる魅力があります。

特長③ 文化

世界遺産の東寺、良質な地下水を生かして酒造産業が発達した伏見地域などの文化・歴史資源があります。

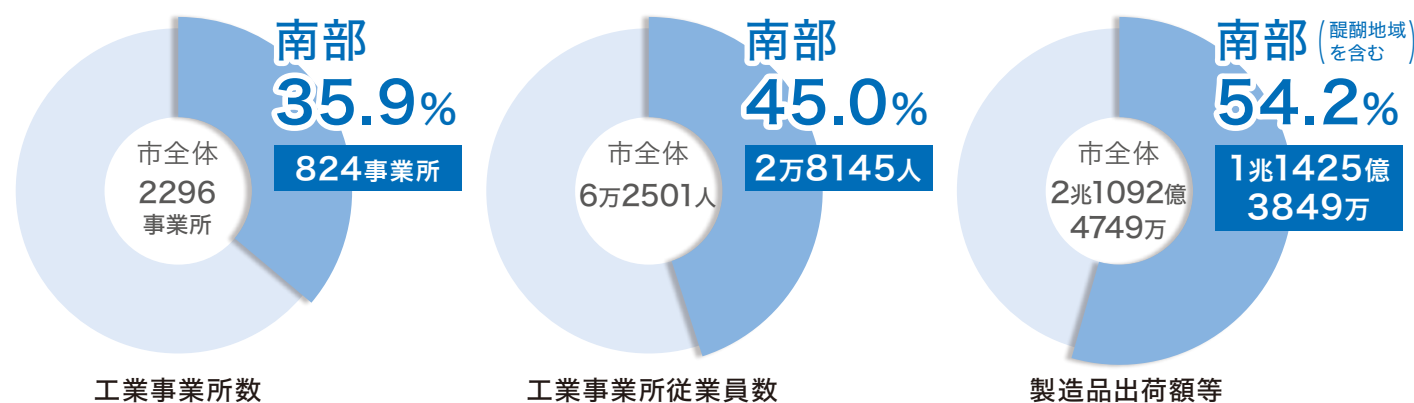
特長④ 産業

市内の製造品出荷額の約5割を占める市内有数のものづくり地域です。



京都市の約7%の地域（南部地域 59.55km²/ 京都市 827.8km²）に、多くのものづくり企業が集積しています。

データで見る南部地域



※平成27年工業統計調査に基づくデータです。いずれも従業員4人以上の事業所を集計しています。

～京都の活力を産み出す南部創造のまちづくり！！～

南部創造のまちづくりの意義及び理念

意義

都心部の再生の取組

歴史的景観の保全・再生
伝統文化の継承・発展

南部創造のまちづくり

産業文化の創造・展開
北部や都心部と異なる魅力の向上

京都の都市力の向上

理念

グローバルな活動の展開と他地域をリードする情報の積極的発信
～社会経済構造の変化に伴う社会的な要請に応えるために～

- 多様な企業活動が促進される環境の整備
- 研究開発機能、情報処理機能及び本社機能など、創造的な雇用の場・起業の場の提供
- 創意工夫ある先導的取組の成果を発信・交流

環境に配慮したアメニティの高い先進的なまちづくり

～南部地域の水と緑の豊かな自然も生かしつつ～

- 脱温暖化・循環型社会の構築
- 自然と共生できる環境の創生
- 住みやすくかつ働きやすいまちづくり



南部創造のまちづくりの目標

魅力ある都市環境が整い、新たな可能性に満ち溢れ、創造を続けるまち

3つの柱に基づき取組を推進！！

柱1 創造的な活動を支える 都市環境の形成

事業活動や日常生活の利便性を高めるため、幹線道路網や公共交通網を充実させます。

- 京都高速道路
- 第二外環状道路
- 新十条通の無料化(平成31年4月)
- 京都駅八条口駅前広場整備
- 駅周辺バリアフリー化
- 淀駅周辺整備
- 市バスダイヤの充実
- 京都らくなんエクスプレス R'EX



柱2 更なる都市機能の集積

企業立地の推進と企業活動の支援、歴史や文化発信力の強化などにより、南部地域の特性を生かした地域経済の活性化を図ります。

- 企業誘致の推進
- らくなん進都の取組
- 新産業創出の拠点施設の整備
- 文化発信力の強化



柱3 戦略的拠点の形成と地域課題に 対応するまちづくりの推進

南部創造のまちづくりの先導地区「らくなん進都」など戦略的にまちづくりを進める地域と連携し、各地域の課題に対応したまちづくりを進めます。

- らくなん進都
- 京都駅南口
- 京都駅東南部
- 西大路
- 桂川
- 深草
- 久我・久我の杜・羽束師
- 伏見
- 横大路
- 淀
- 水垂
- 向島

